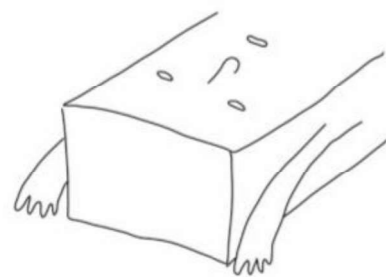


作成名	【キャンドル以上、焚き火未満】 ちょうどいい火遊びセット『HIASOBI』	作成者	野地木材工業×森女ミーティング(mail : sales@nozimoku.co.jp)
作品紹介	公式に火遊びができる、熊野桧を原材料としたHIASOBIセットです。		
コンセプト PRポイント	体験価値の提供、火育、1本の木を無駄なく使う		

# HIASOBI

～キャンドル以上、焚き火未満～

火の神「カグツチノミコト」が祀られている三重県熊野市。  
この地の製材所で、廃棄される運命を待つ熊野桧の端材。  
火と木にまつわるストーリーから着想を得て、  
一風変わった視点からアプローチした火遊びセットをつくりました。  
いけないこととされている火遊びを通じて、  
日本の木と火の文化を子どもたちに伝え、  
豊かな感性を育てていきたい。  
そんな思いから、HIASOBIは生まれました。(2022年3月商品化)

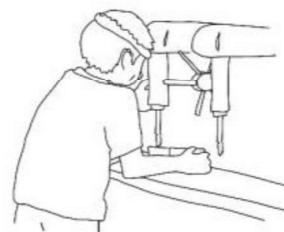


やさぐれ端材に気付いた  
室谷さんは



熊野のヒノキと自負して  
おたのみに、気付いたら  
端材になどった  
ハンパ者や  
ほんでこのまま  
バイオマスならの炉で  
燃やされるんか  
なんかやさぐれるわー

ひと手間かけて



トーチをつくりました



マッチ



敷板(床材)

＼やさぐれ卒業／



かなげずり



ペラペラ



ろうそく



わりばし(ハネ品)

## 使用シチュエーション



花器として



わすれたい思い出の  
火付け役として



特別な朝を演出する  
コンロとして



イベントの  
ノベルティとして



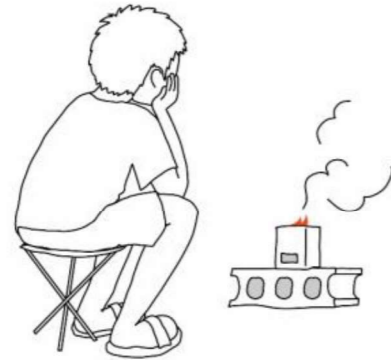
ご家庭での火育として



キャンプ場での  
盛り上げ役に

# HIASOBI 5つの特徴

## ■60分ほど火が灯り、没頭できます

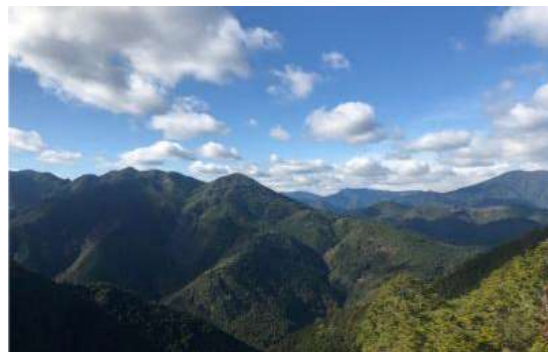


HIASOBI風景の動画は  
こちらから(YouTube)↓



3寸5分角のHIASOBI。簡単には火が付きません。フーッと息を吹きかけたり、付属の端材のくべ方を工夫して火を育てることに時間を忘れて没頭します。空気の通り道が付いているので、HIASOBIの上でコンロとして食事を調理したり、火を囲んで談笑したりと、充実した体験を提供します。

## ■地域資源を活用します



### 三重県熊野市と桧

紀伊半島南部に位置する熊野は、降水量が多く、豊富な森林資源を有します。この地域では木々を密植することで、目の細かい良質な桧を作ってきました。近年、和室の減少や外材の価格に翻弄され、疲弊した林業を元気にするため、熊野の桧を活用したHIASOBIをつくりました。



### 火の神カグツチ伝説と桧

熊野市には日本最古の物語「古事記」に登場する火の神カグツチが祀られています(右図:花窟神社)。古来より、「火は危険だけでなくはならないものとして重宝されてきた」というメッセージを熊野の桧を通して伝えます。

## ■素朴なデザイン 受け手に委ねる使用用途



使い方は燃やすだけにあらず。熊野桧のなめらかな手触りや香りを楽しむもよし。花器としてオブジェにするもよし。凹凸と空気穴を活かしてスマホスタンドとして使うこともできます。このように使い方を考えること自体を楽しむプロダクトとなっています。

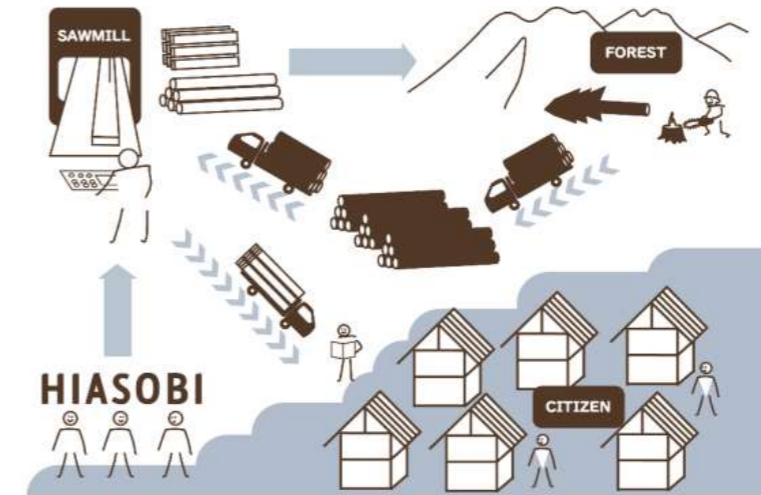
## ■県産材の利用拡大に貢献します HIASOBI CREWを募集

販売開始後、同業の方から「うちの製材所でもHIASOBIを売りたい」というお声をいただきました。それを受けて、HIASOBI CREWとして一緒にHIASOBIを広める仲間を全国的に募ります(現在準備中)。

パッケージを販売し、中のHIASOBIは各々の製材所にお任せすることで、未利用端材の有効活用を促進します。

その町の製材所から、老若男女がその地域の材で作られたHIASOBIを抱えて笑顔で出てくる。そのような未来を目指します。

## ■三重の山にとって良いことがあります



HIASOBIは製材所の端材から生まれました。1本の木を無駄なく使い切ることは、製材所のコスト低減につながります。製材所の収益が増えることで原木を高く買うことができます。原木を高く買うことで、森林に収益を還元でき、森林資源の循環・森林保全につながります。